平成14年 消防概況

市消防本部がまとめた平成14年の消防概況によると、火災発生件数・救急出動件数は、いずれも前年に比べて減少しました。皆さんの大切な財産や命までも奪ってしまう火災や事故。普段の生活から、火災や事故の防止には十分注意したいものですね。

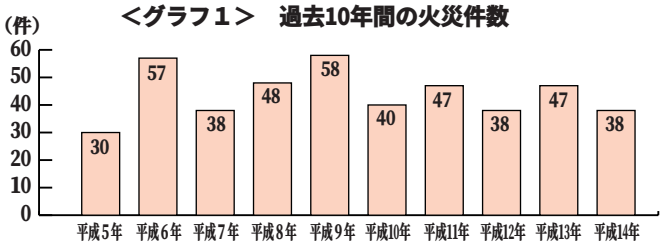
火災概況

●出火件数は９件の減少

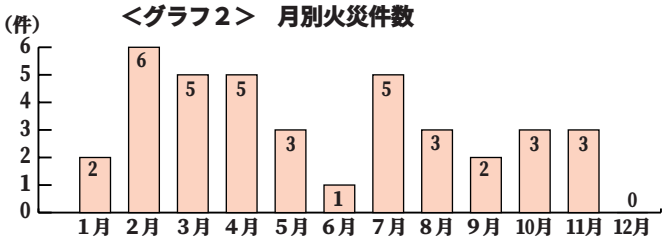
平成14年中の火災件数は38件で、前年と比べ９件の減少となりました（グラフ１参照）。

月別の出火件数は、２月の６件が最も多く、３・４・７月の５件と続きます（グラフ２参照）。

＜グラフ１＞　過去10年間の火災件数



＜グラフ２＞　月別火災件数



●火災種別の１位は建物火災

火災種別ごとでは、建物火災16件、車両火災６件、その他（かれ草などの火災）が16件でした。

●死傷者…死者１人、負傷者５人

火災による死者は１人、負傷者は５人でした。火災種別ごとの内訳を見ますと、死者は車両火災（放火）、負傷者は建物火災で３人、その他の火災で２人でした。

●出火原因…放火・放火の疑いが大幅に減少

出火原因別では、たき火・こんろ・たばこが各３件と目立っています。放火・放火の疑いは２件で、前年の９件と比べ大幅に減少しました。

救急概況

●救急件数は８件の減少

平成14年中の救急件数は1,613件でした（前年の 1,621件と比べ８件の減少）。これは、１日平均約 4.4件出動したことになります。搬送人員は 1,570人で、市民41人に１人の割合で救急搬送されたことになります。

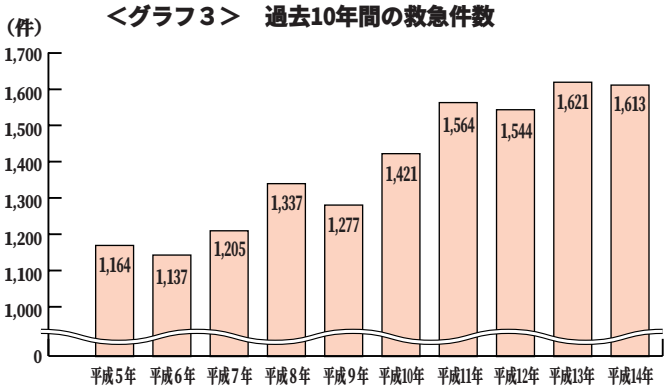
●救急事故種別の１位は急病、次に交通事故

救急事故種別の上位は、急病914件、交通事故256件、一般負傷197 件でした。

●最近の傾向…救急件数は増加の傾向

救急件数は年々増加の傾向にあり、平成５年と比べ449件の増加となっています（グラフ３参照）。中でも自損行為による出動は、平成５年と比べ22件増加の26件で、急増しています。逆に交通事故による出動は、平成５年と比べ55件減少の256 件で、減少傾向にあります。

＜グラフ３＞　過去10年間の救急件数



春の全国火災予防運動（3月1日～7日）

火の用心　７つのポイント

①家の周りに燃えやすいものを置かない
②寝たばこや、たばこの投げ捨てはしない
③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
④風の強いときは、たき火をしない
⑤子どもには、マッチやライターで遊ばせない
⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない

貴重な文化財を守りたい
文化財防火デー・消防訓練を実施

毎年一月二十六日は、文化財防火デーです。

本市でも、この運動にちなんで、一月二十二日（水）に白山神社（泉町）で消防訓練を実施しました。

貴重な文化財を、いつまでも守っていきたいですね。